

ケッティーのFX講座

第3回

順張りの極意

By ケッティー

注意事項

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

トレンドとレンジ

トレードをする上で、大切な事は現在の相場状況がわかり、そしてその後の流れをどう読んでいくか…このどう読んでいくかはただ一方通行の動きしか想定していないとなると、逆の動きをした場合に対処が遅くなったり、対処することができなかったり…。

これから皆さんと手法についてお話ししていきますが、
一番念頭に置いて頂きたい事は

■今、トレンドが出ているのか。

■今、レンジ相場なのか。

■どちらとも判断がつかなく、把握しづらい状況なのか。

この3点にまず分けて頂きたいと思います。

それでは、この3点がどういう状況なのかを見ていきましょう。

トレンド相場



ダウン（下降）トレンド

MA

角度がしっかりあり（右肩下がり、）

ローソク足がMAよりも下を推移

BB

バンドが開いていて、ミドルラインも右肩下がり。ミドルラインより下でローソク足は推移

雲

ローソク足は雲より下を推移



アップ（上昇）トレンド

MA

角度がしっかりあり（右肩上がり、）

ローソク足がMAよりも上を推移

BB

バンドが開いていて、ミドルラインも右肩上がり。ミドルラインより上でローソク足は推移

雲

ローソク足は雲より上を推移

トレンドが発生する場面と言うのは、それまで買いと売りが拮抗していたエネルギーが一気に一方向に動き、その流れが継続している状況をトレンド相場と言います。

すなわち、トレンドが発生し、そしてその流れに逆らわずにトレードをすることを『順張り(トレンドフォロー)』と言います。

トレンドもいつかは終わりますので、発生した後はどこで終わるかも意識するようにしましょう。

レンジ相場



レンジ相場

MA：一方向に傾きがある訳ではなく、小刻みに波を描くか、横ばいに推移している。

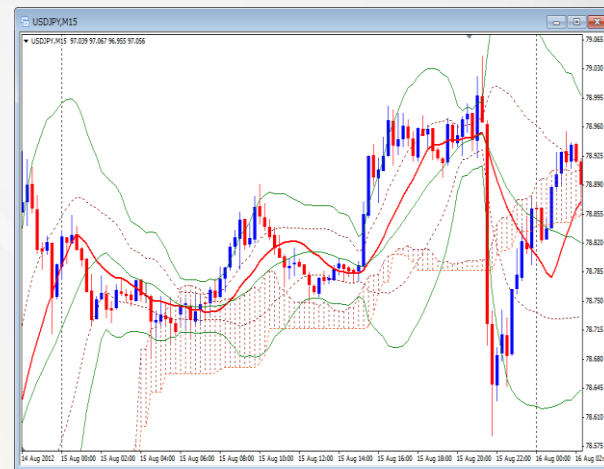
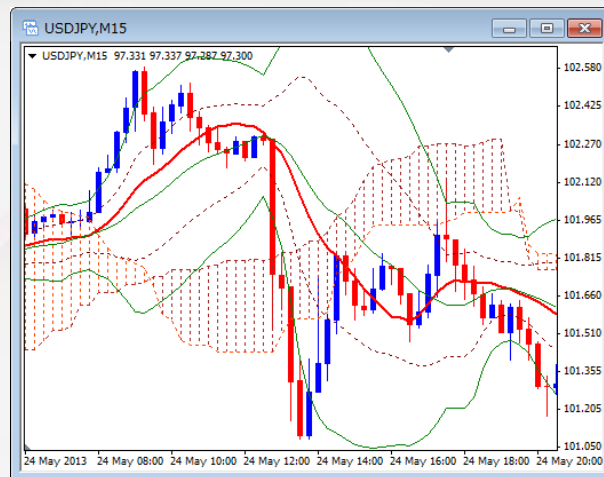
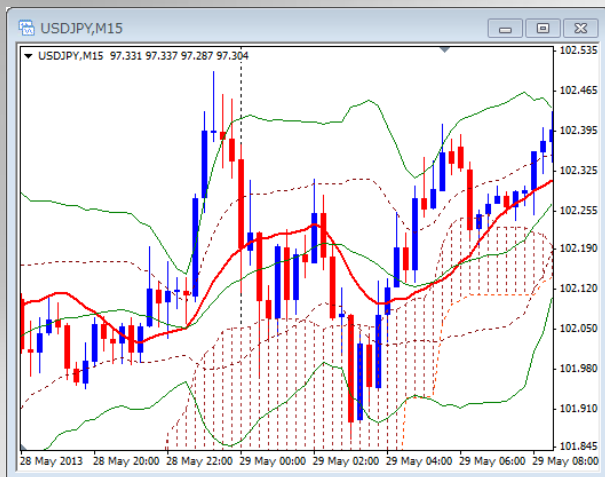
B B：大きくエクспанションすることなく、スクイーズ場面がある。

ミドルラインはMAと同様。

雲：雲の中に潜ったり、絡んだりしていて、抵抗帯としての機能は薄れている。

レンジが発生する場面は買いと売りが拮抗していてエネルギーを貯めている状態で、レンジ上限と下限に水平線を引くことができ、そのライン内で行ったり来たりしている状況をレンジ相場と言います。レンジ相場は次にどちらの方向へ動くか準備をしている期間なので、レンジが長ければ長いほどエネルギーを貯めていると言えます。ある程度値幅が大きなレンジ相場から、値幅が小さいレンジ相場でも判断がわかりますので、こちらは第4回でしっかりと解説いたします。

どちらとも判断がつかなく、相場状況が把握しづらい相場



相場状況が把握しづらい相場

MA：急上昇、急降下したと思ったらすぐに横ばいになったりし、方向感が定まらない。

BB：スクイーズやエクспанションをしていたり、かろうじて $\pm 2\sigma$ 間を推移しているが、方向性が読めない。

雲：下割れ、上抜けしてもすぐに逆方向に突き抜けたり、抵抗帯としての雲の機能をはたしていない。

トレンド相場のように一方に値が動いているわけでもなく、高値安値の一定の水平線内で値が動いているわけでもない状況は、いわば、トレンドかレンジか定義づけることができない状況を言います。

言い換えると、各テクニカル指標がトレンド時やレンジ時のように判断できる形状ではなく、そして水平線も機能していない状況と言えます。

こういった場面では、時間軸を変えて(大半は長い時間軸)、判断ができることもありますが、どちらか判断の付かない場合は、トレードを見送ることが大切です。

順張り（トレンドフォロー）の手法が有効に働く相場環境と注意点

- ①長期足(日足、4H足、1時間足)と短期足(15分足、5分足、1分足)の方向性が合致している。
- ②ボリンジャーバンドがエクспанションし始め、バンドウォークをしたら、トレンドの出始めかを見極めるようにする。
- ③トレンド発生の初期段階では、長い時間軸でBB±2σまで距離(間)あるか、そして強いサポレジなど、トレンドの邪魔をしてくるような水平線はないかを確認。
- ④テクニカル指標や水平線を見て、トレンドが発生したと分かってからエントリーをすること。
- ⑤トレンド発生の第1波はダマシに合う事も多いので、流れを確認してからエントリーしましょう。
- ⑥トレンド発生の初期段階はエネルギーも強く、流れに乗りやすいが、終わりの方はだんだんエネルギーは弱まり、エントリーもしづらくなる。
- ⑦第2波、第3波で乗ることを意識し、そこでエントリー出来なければ、一旦は見送ることも考える。
- ⑧トレンド発生後は常に終わりはどこになるか(どのラインで止まるか)を意識すること。

順張り（トレンドフォロー）のエントリーポイント

①押し目、戻り目のタイミングでエントリーをする。

±1σ、MA、BBミドルライン反発でのエントリー
加えてサポレジも追加の根拠になれば尚良し。

②高値越え、安値割れのタイミングでエントリーをする。

直近の高値超え、安値割れをしたところでエントリー。加えてサポレジも追加の根拠になれば尚良し。

①でエントリー出来なかった時の2次的手法

①押し目、戻り目エントリーのメリットとデメリット

【メリット】

- ・逆行が少なく、損切値が浅くて済む。
- ・トレンド継続ならば、精神的に楽で安全なエントリー手法。

【デメリット】

- ・エントリータイミングを掴むには、ある程度の訓練が必要。
- ・利確目標値の設定を誤ると、薄利で決済してしまう。

②高値越え、安値割れエントリーのメリットとデメリット

【メリット】

- ・勢いのある相場では積極的に使える手法。

【デメリット】

- ・逆行に合う確率は押し目、戻り目よりも多く、損切値も深い。

順張り（トレンドフォロー）のイグジットポイント

①押し目、戻り目エントリーのイグジットポイント

■利確ポイント■

- ①サポレジの水平線。
- ②BBの $\pm 2\sigma$ タッチ。もしくはバンドの少し内側に入った所。
- ③ロングエントリー：MA, もしくはミドルラインを実体で下に割った所。
ショートエントリー：MA, もしくはミドルラインを実体で上に抜けた所。

■損切りポイント■

- ①エントリー根拠が崩れた時
±1 σ 、MA、BBミドルラインを実体で逆にいった所

②高値越え、安値割れエントリーのイグジットポイント

■利確ポイント■

- ①サポレジ
- ②BBの $\pm 2\sigma$ タッチ。もしくはバンドの少し内側に入った所。

■損切りポイント■

- ①エントリー根拠が崩れた時
根拠の高値を割れたり、安値を上抜けした所

押し目、戻り目のエントリータイミング2種

小さなトレンドラインでタイミングを取る



小さなトレンドラインを引いて、そのラインを上抜け、下割れした時にエントリー。足が確定前に入ることもある。

【メリット】

- ・ 逆行が少ない
- ・ タイミングは測りやすい

【デメリット】

- ・ 損切りが深くなる

タッチ&ゴーでタイミングを取る



±1σ、MA、ミドルラインに当たった所もしくは陰線陽線が逆転したところでエントリー。

【メリット】

- ・ 損切り値が浅い

【デメリット】

- ・ 逆行の確率が高くなる

高値越え、安値割れのエントリータイミング



高値ライン越え、安値ライン割れのタイミングで入るので、足が確定する前にエントリーすることもある。ただし、足確定前は逆行することもあるので、注意すること。
また、損切り値をタイトにしすぎると、損切りの嵐に合う事もあるので、少し耐える必要もある。

複数足での順張りが機能する相場状況



日足＝アップトレンドの状態
雲はローソク足よりも下
前日にミドルラインを実体で割れていない状況。
→日足ミドルライン反発するかどう
かの局面



1時間足＝レンジ帯を上抜けする局面
ローソク足が雲を上抜け
MA, ミドルラインも右肩上がりの角
度が認識できる状況
→アップトレンド開始の局面を確認
できたので、短期足で押し目を狙いたい
局面

複数足での順張りが機能する相場状況



15分足＝アップトレンド押し目
雲はローソク足よりも下
直近のアップトレンドを継続するかどうか見極める状況。
→MA、ミドルライン反発もしくは高値越えでのエントリーの局面



5分足＝レンジ帯を上抜けする局面
雲はローソク足よりも下
MA, ミドルライン反発を想定する場合
→タッチ&ゴーもしくはトレンドライン上抜けでのエントリーの局面

利益確定（ターゲット）はどこに置くか？

■エントリーとイグジットの足を同じ時間足で判断する。

エントリーした時間足と利益確定する根拠の足が同じ時間足で設定する方法



短期足でのトレードの場合

【メリット】

- ・トレンドの1波、1波を拾っていくので、安全なトレード。
- ・損切り値も浅く設定できる。
- ・短期決戦なので、半日もしくは1日など長い時間ポジションを保有しなくてよい。

【デメリット】

- ・売買回数が多くなる。
- ・利を伸ばすことが難しい。

長期足でのトレードの場合

【メリット】

- ・利は伸ばせる。
- ・売買回数は少ない。

【デメリット】

- ・損切り値が深くなる。

利益確定（ターゲット）はどこに置くか？

■短い時間足でエントリータイミングを測り、ターゲットは長い時間足で測る。

エントリーした時間足と利益確定する根拠の足が異なった時間足で設定する方法



【メリット】

- ・ 利が伸ばせる。
- ・ 売買回数は少なくなる。
- ・ 損切り値が浅い。

【デメリット】

- ・ 長時間保有しなければならない。
- ・ ターゲットの置き方でかなり利益幅が変わってくる。



順張り（トレンドフォロー）のまとめ

- ① 順張りの優位性のあるエントリーポイントはしっかりとMAに角度が出ていること。
- ② ダマシに合わないためにも第1波は避けること。
- ③ どこまでトレンドが続くかを意識するが、利益目標を決めるのに重視するのは長期足を参考にする事。
- ④ あくまで素直に乗ることが大切。この辺りで止まりそうだから逆張りしようなどと考えないことが大切。流れに逆らわないようにすること。
- ⑤ トレンドフォローは利益確定をどこに置くかで、利益の取り方が大きく変わる手法。
自身の生活スタイルと性格にあった利益目標を設定するようにトレーニングを積むこと。
- ⑥ 後になってチャートを見れば、ここまで引っ張れたのに…と思いがちになる。
しかし、トレンドの全てを取ることは不可能なので、利益が出る、もしくはターゲットで利確することが大切なので、そこにはこだわらないこと。

しっかりとトレンドフォローをマスターすることが、資金を増やすことになります。
まずは順張り手法をFT2などでトレーニングしましょう！